

やさい週間情報(第23号)

平成29年9月15日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	6,000~5,800	5,800~	-	1本売り (2L・L) 498~398円	<p>本県産中心に北海道産の販売。</p> <p>本県、北海道産の出回りが増えてきており、不足感は徐々に解消されつつある。安価な転送品の出回りと終盤からくる傷み等の影響から全体的に荷動きは鈍化しており、厳しい販売となっている。</p> <p>来週以降、出荷量は更に増加することが見込まれ、滞荷が懸念される。そのため徐々に価格を下げながら荷動きの悪化を防ぐとともに、消費宣伝会の実施により需要の喚起に努める。</p> <p>引き続き、品質低下や折れも見られることから、産地においては選別の徹底や荷扱いに注意をお願いします。</p>
		A3L	6,000~5,800	5,800~			
		A2L	5,700~5,500	5,500~5,300			
		A L	5,000~4,800	5,000~4,800			
		A M	4,500~4,300	4,500~4,300			
		B4L	5,200~5,000	5,000~4,800			
		B3L	5,200~5,000	5,000~4,800			
		B2L	4,500~	4,500~4,300			
		B L	4,300~	4,200~			
		B M	4,200~4,000	4,000~			
		C2L	4,200~4,000	4,000~3,800			
C L	3,800~	3,800~3,600					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,500~6,000	6,500~6,000		1本売り 598~498円	<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>連休を控え、本県産・北海道ともに出荷量が総体的に多くなっており、特に比率の高い2L・Lを中心に荷動きが鈍化している。また、全体的な価格の下げから、これまで加工向け等で安定していたC品についても弱含みでの販売となった。</p> <p>来週以降も、出荷量が多い見込みであることから、価格については下げ基調で推移するものと思われる。</p>
		A3L	6,500~6,000	6,500~6,000			
		A2L	6,000~5,500	6,000~5,500			
		A L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		A M	4,600~4,500	4,500~4,200			
		B4L	5,500~5,000	5,500~5,000			
		B3L	5,500~5,000	5,500~5,000			
		B2L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B L	4,700~4,600	4,700~4,600			
		B M	4,400~4,300	4,400~4,300			
		C2L	4,600~4,500	4,600~4,500			
C L	4,200~3,800	4,200~3,800					

品名 ながいも No.2

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,000~5,800 6,000~5,800 5,500~5,000 5,000~4,800 5,000~4,800 5,000~4,800 4,500~ 4,300~4,000 4,200~3,800 3,800~3,600	5,800~ 5,800~ 5,200~5,000 5,000~4,800 5,000~4,800 5,000~4,800 4,500~ 4,300~4,000 4,200~3,800 3,800~3,600		カット 98~78円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 消費地の気温は幾分下がってきており、荷動きは鈍ってきている。また、安価な転送品の出回りが非常に多いことと、在庫として保管されているものにイタミが見えていることも、荷動きの鈍さの理由となっており、価格については弱含みでの推移となった。 来週についても、価格は弱含み推移となる見込みだが、消費宣伝会を積極的に開催し需要喚起に努める。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	6,000~5,800 6,000~5,800 5,200~5,000 5,000~4,800 5,000~4,800 5,000~4,800 4,800~4,600 4,500~4,300 4,000~3,800	6,000~5,800 6,000~5,800 5,200~5,000 5,000~4,800 5,000~4,800 5,000~4,800 4,800~4,600 4,500~4,300 4,000~3,800		カット 100g 88~68円	日中の気温は高いが、朝晩が涼しくなり売り場も秋商材に変化していることに伴い、ながいもの引き合いも弱くなっている。 価格を幾分下げたことに連動して、売価も幾分下がってきているものの、依然として少量の売り場構成となっている。 週末の台風が通過した以降は、日中の気温も30度を下回る予想から、更に引き合いが弱くなると思われ、また、北海道帯広川西が他品目の混載で、ながいもを出荷する回数が増えており、全体的に入荷増の見込みから弱めの販売が続く見込み。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,000~ 6,000~ 5,200~ 5,000~ 5,000~ 5,000~4,800 4,300~ 4,300~4,200 4,000~ 3,800~	6,000~ 6,000~ 5,500~ 5,000~4,800 5,500~5,000 5,500~5,000 4,500~ 4,300~ 4,200~4,000 4,000~3,800	なし	1本売り 480~円 カット 100g 84~78円	本県産中心の販売。 今週より本県産の出荷が増量となり、入荷の無かった市場にも入り始めた。ただ、気温の低下とともに荷動きは鈍くなってきており、市況は弱含み推移となっている。 来週については、東北市場へのは入荷は変わらないものの、荷動きの緩慢な状況は続くものと思われ、市況は弱保合推移の見込み。

品名 に ん に く No. 1

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	2,300~2,200 2,000~ 1,800~1,700	2,400~2,300 2,000~ 1,800~1,700	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 ｽﾞｲﾝ産 1 P 158~98 円	本県産中心の販売。 本県産の入荷が少なく全体的に不足感が見られ、引き合いの強い状態が続いている。出荷比率の低い 2L 級は強め、出荷比率の高い M 級についてはやや弱めの相場展開となっている。 比較的 M 級の入荷が多いため、ながいもの宣伝会に絡めた企画提案を行い LM 中心の販売環境づくりに努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	2,400 2,200 2,000~1,800 2,200 2,000 1,800~1,600	2,400 2,200 2,000~1,800 2,200 2,000 1,800~1,600		L 1 P 298~198 円	本県産中心の販売となっている。 他農作業の影響もあり、先週よりもさらに入荷が少ない状況が続き、各等階級とも引合いが強まっており、概ね保合での販売となっている。 来週についても、引続き入荷量は少ない見込みから堅調な販売が続く見込み。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,200 2,300~2,000 1,700~1,500	2,500~2,200 2,300~2,000 1,600~		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 入荷量は少ないものの、発生比率が高い M 級については在庫を抱えながらの販売となっており弱含み推移、一方で 2L 級・L 級については不足感から強保合推移となっている。 来週についても、入荷量は少ないことから同様の傾向が続く見込み。
九州	本県産	A 2 L A L A M	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500	2,400~2,200 2,200~2,000 1,700~1,500			本県産の流通量が極端に少なく、2L・L 級は一段価格が上げとなっている。 本県産の入荷量が少ないことに伴い、輸入品の売り場が拡張傾向となっており、今後は更に入荷減が見込まれることから、本県産の売り場の狭さが懸念される。
東北	本県産	A 2 L A L A M	2,500~2,300 2,000~ 1,800~	2,500~2,300 2,000~ 1,800~	なし	L 1 P 298 円	先週に引続き、県内市場以外の入荷が無く、不足感が非常に強い。 入荷のある県内市場についても、平年と比べると入荷量が少なく、市況は 2L 級を中心に強保合推移。 来週についても、東北市場への入荷は少ないことから、市況は強保合での販売となる見込み。

品名 ご ぼ う

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 群馬県産	本県産 A 2 L A L A M 群馬県産 A M	1,800~1,700 2,000~ 2,300~2,000 1,800~	1,800~1,700 2,000~ 2,300~2,000 1,800~			関東近在産中心に本県産の販売となっている。 茨城県産および本県産の出荷となっているが総体量はそれほど多くないが、特に入荷比率の高い3L、2L中心にやや弱め、LMについては保合いでの販売となっている。 徐々に売り場は秋商材へと変わってきており、本県産の出荷が本格化を迎える中、早めの本県産への切替えを図るため継続的な出荷をお願いします。
名古屋	本県産 群馬県産	A M A 2 M A S A 2 S	2,400 2,500~2,300 2,200~2,100 1,700~1,600	2,300 2,400~2,200 2,100~2,000 1,600~1,500			本県産・群馬県産中心の販売となっている。 末端の売場については、他県産が中心となっているものの、本県産の入荷が細物中心で徐々に増えてきており、定番企画を中心に来週以降の産地切替えに向けて、安定した販売となっている。 来週以降、徐々に増量する見込みとなっているものの、他県産が減少することもあり、価格については概ね保合となる見通し。
大阪	北海道産 本県産 群馬県産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	1,600~ 1,800~ 2,000~ 2,400~2,300 2,400~2,300 2,000~ 1,800~	1,500~1,400 1,600~ 1,800~ 2,200~2,000 2,200~2,000 2,000~ 1,800~			北海道産・群馬県産・本県産の販売。 前段産地が太物傾向であったため、3L級・2L級の加工業務向けとなる階級で業者が大量に在庫を抱えており、引合いは弱いものの、L級以下については順調な販売となっている。特にS級・2S級は入荷の割合が低いため、保合での販売となっている。 来週については、太物は弱含み、細物は保合での推移となる見込み。
東北	本県産 群馬県産	4kg A 2 L A L A M A 2 M A S	800~ 700 900~ 1,000~ 900~ 700~	800~ 700 900~ 1,000~ 900~ 700~			本県産および群馬県産の販売。 前段産地の群馬県産が8月の降雨の影響から、残量が多く、入荷がまだ続いている。また太物中心の出荷となっており、3L・2L、外品など、加工向けの階級を中心に販売苦戦となっている。 ただ、本県産については、出荷始めから入荷量が少なく比較的堅調な販売スタートとなっている。 来週についても、入荷はまだ増量とならないことから、市況は保合い推移の見込み。

品名 だいこん

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 北海道産	A2L AL	1,000~900 1,100~1,000	900~800 1,000~900	—	1本 198~178円 ハーフカット 98円	北海道産中心に本県産の販売となっている。 北海道産中心の入荷に加え、本県産の入荷も今週から増加している。週前半は、一時的な不足感から日々価格を上げての販売となったものの、価格の上げから特売需要も少なく、週後半にかけては一転、弱めの相場展開となっている。 来週は台風の影響で一部輸送が止まり前半については保合いでの販売となるものの後半以降、一段下げての販売となる見込み。
名古屋	本県産 岐阜県産 北海道産	A2L AL	1,200~1,100 1,300~1,200	1,000~900 1,100~1,000	—	1本売り 198~158円	本県産および北海道産中心の販売となっている。 連休を控えた中、総体量は少ない状況が続いていることから、先週同様に強めの販売となった。 来週については、量販店の特売が他品目中心に組まれていることから、発注が落ち着く見込みとなっており、今週に比べ一段下げての販売が見込まれる。
東北	本県産	平場 A2L AL 高冷地 A2L AL	1,100~1,000 1,200~1,100 1,200~ 1,400~	1,000~900 1,100~1,000 1,200~1,100 1,400~1,300	—		本県・北海道産中心の販売。 北海道産の入荷が一時的に減少となったことから、市況は強含み推移となった。本県産についても、微増の入荷となっているが、総体量少なく、引合いの強い状況が続いている。 来週については、天候次第ではあるが、入荷が回復することから、市況は軟調推移となる見込み。

品名 こ か ぶ

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L	1,200~1,000 1,200~1,000	1,000~ 800 1,000~ 800			<p>本県産中心に関東近在産の販売。 本県産の出荷量については、産地での生育不良の影響もありそれほど多くはないものの、関東近在産の出荷も始まり、徐々に総体量は増えてきているため、日々価格を下げながらの販売となった。 今後、10月の増量期を控え、一時的に価格を下げ売り場作りや荷動きの改善を図る。</p>
名古屋	本県産	A 3 L A 2 L	1,500~1,400 1,500~1,400	1,400~1,300 1,400~1,300			<p>本県産中心の販売となっている。 先週に比べると安定した入荷となり、業務関係や学校給食需要を中心とした引合いから、価格については概ね保合いでの販売となった。 来週については、徐々に関東産の入荷が増えるうえ、本県産が播種の薄い時期に入り、不安定な入荷が予想されることから、量販向けの売場は縮小傾向になる見込みから価格は弱含みでの販売が見込まれる。</p>
大阪	本県産	A 3 L A 2 L A L	1,500~1,200 2,000~1,500 1,500~1,200	1,500~1,200 2,000~1,500 1,500~1,200			<p>本県産中心の販売。 今週に入って幾分数量は回復したものの、不足感は解消されておらず、価格は保合推移となっている。 来週までは、ある程度の入荷が見込まれるものの、再来週からは大きく減量する見通しから、不足感は続き、強保合で推移する見込み。</p>
東北	本県産	A 2 L A L	1,200~1,000 1,200~1,000	1,200~1,000 1,200~1,000			<p>今週から入荷量は微増となっており、また他地区の価格の下げから市況は下げの展開となった。 来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、市況は弱含みで推移する見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M A S	1,800~ 2,000~1,800 1,800~	1,500~ 1,600~1,500 1,500~			<p>東北産、北海道産と関東近在産の抑制物の販売となっている。</p> <p>今週については関東近在産の出荷も日々増加しており、本県産の出荷についても大きな増減はないまま推移した。そのため、不足感は解消されつつあり、荷動きも鈍くなっている。</p> <p>連休明けについても引き続き抑制産地の数量については横ばいの見込みとなっているため、本県産についても下げの展開となるものの、10月初旬には抑制産地が花落ち等の影響から再び減り込むことが予想されるため、相場も一時的な下げとなる見込み。</p>
	関東近在産	A M	1,800~1,600	1,400~1,200			
名古屋	本県産 岐阜産	A L A M	2,000~ 2,000~	2,200~ 2,200~			<p>本県産・岐阜県産中心の販売となっている。</p> <p>抑制ものの遅れから入荷が少ない中、今週前半は強保合で推移していたものの、後半は高値の反動と一時的な入荷増にから一段下げての販売となった。</p> <p>来週以降も、入荷量は大きく変わらない見込みから、保合からやや強めの販売となる見通し。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M 3Kバラ	170~ 190~ 2,000~	170~ 190~ 2,000~			<p>東北産、北海道産中心に茨城県産の販売。</p> <p>各産地の出荷が増えつつあるものの、高値が続いていた影響から、総体的には荷動きの鈍い状況となった。学校給食等の業務需要の高まりから引き続き安定した需要はあるものの、特にパックについては厳しい販売になりつつある。</p> <p>来週についても各産地順調な出荷が見込まれることから弱保合いでの販売となる見込み。</p>

品名 ば れ い し ょ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東近在産	メーカー A 2 L A L A M	500～ 500～ 400～	500～ 500～ 400～			北海道産中心に本県産の販売となっている。 北海道産のメーカーについては順調な入荷となり厳しい販売となっているが、キタアカリについては、比較的入荷量は少なく保合いでの販売となっている。 売り場の産地切替は更に北海道産へと変わってきており、今後も更に販売は厳しい状況となるが、本県産の終了時期等の産地情報をつなぎながら本県産の価格維持に努める。
名古屋	本県産 静岡産 北海道産	メーカー A 2 L A L	600～500 500～400	500～400 400～300			本県産・北海道産中心の販売となっている。 北海道産が順調に増えており、本県産の売場確保が難しくなっている。2L級については北海道産が小玉中心ということもあり注文が入ってもいるもの、それ以外については厳しい販売となっている。 来週についても、厳しい販売が続く見込みとなっているものの、的確な産地情報の提供をしながら価格の維持に努めたい。
大阪	北海道産 本県産	メーカー A 2 L A L A M	400～300 400～300 200～	300～ 300～ 200～			北海道産・本県産の販売。 北海道産は潤沢な入荷が続いている。量販店等の売り場でも販売の中心が北海道産となっていることから、厳しい販売環境となっており、価格についても下げ基調で推移した。 来週についても、北海道産が主体の厳しい販売環境となることが予想されるが、価格維持に努めながら販売したい。
九州	本県産	メーカー A 2 L A L A M	1,000～800 1,000～800 700～500	1,000～800 800～600 600～400		袋 158～138円	今週から北海道産が九州向けに出荷増となった影響により、流通在庫が急激に増え、価格は下げとなっている。 管内も朝晩の涼しさから秋商材の売り場が拡張しており、メーカーも袋詰め中心に売り場は広がっているが、引き合いは強くはなく、北海道産の入荷次第では更に厳しい販売となる見込み。

品名 ピーマン

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	東北産 本県産	A L 袋	1,200~1,100 70~60	1,200~1,100 70~60			<p>東北各産地中心に茨城県産の販売。 岩手県産の増加および茨城産の秋作のバラ産地の出荷も順調な入荷が続いている。その為、バラについては価格を下げながらの販売となっている。 各産地安定した入荷が続いており極端な増減はないものの、引き続きバラについては弱め、袋物については保合いでの相場展開となる見込み。</p>
大阪	本県産 福島県産 兵庫県産	バラ A L 袋 A L	1,200~ 60~	1,200~ 60~			<p>本県産中心に福島県産・兵庫県産の販売。 天候の回復に伴い各産地が増量したことと、一部で茨城県産の入荷もあるため、総体量は増えている状況にある。特にバラの入荷割合が高いことから、バラの荷動きが鈍化しており、価格についてはバラが弱含み、150g袋で保合推移となった。 来週についても、同様の傾向が続き、価格は概ね保合推移となる見込み。</p>

品名 露地ねぎ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L	1,500~1,300 1,800~1,600	1,500~1,300 1,800~1,600			<p>東北各産地中心に、新潟産の販売。 各産地ともに品質面での改善がみられ、総体量も増加したものの特売需要も重なり相場については保合いでの販売で推移した。 来週については天候次第ではあるが、各産地の出荷量が増量することが見込まれており、本県産の売り場の確保、早期の荷動きの改善に努める。引き続き選別の徹底および検品の強化をお願いします。</p>

品名 きゅうり

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,800~1,600	1,600~1,400			<p>東北各県産中心の販売となっている。</p> <p>岩手県をはじめとする露地産地の出荷も増えてきていることや、抑制産地の出荷も始まっていることから、週後半にかけ日々価格を下げながらの販売となっている。</p> <p>好天により気温の高い日が続いており、今後についても抑制産地の順調な出荷が見込まれるため来週以降についても弱めの相場展開が予想される。</p>